

使用済み切手3万5000枚など

岐阜信金が寄贈

県社福協に

岐阜信用金庫(岐阜市)は27日、県社会福祉協議会に使用済み切手3万5092枚などを寄贈した。

贈ったのはほかに、ベルマーク3187枚と使用済みプリペイドカード40枚、書き損じはがき37枚。この1年間、全営業店や関連会社、客や従業員から募った。同協議会への寄贈は毎年行っており、今年で21回目。



同金庫の奥村順一理事業務推進部長が岐阜市下奈良の同協議会を訪れ、坂正光常務理事に目録を手渡した。奥村理事は「今後も地域社会の一員として社会福祉の向上に努めていく」と話し、坂常務理事は「地域の要として頑張ってもらえるようボランティアの振興に努めていきたい。長きにわたる支援に感謝している」と述べた。

ベルマークは収集している学校に贈呈、その他は換金して県内で地域福祉活動に取り組みボランティア団体の助成に充てる。

(鈴木隆宏)

坂正光常務理事(左)に目録を手渡す奥村順一理事。岐阜市下奈良、県社会福祉協議会。